

「T-SPOT.TB」(インターフェロン- γ 遊離試験) 結果判定様式変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、測定委託先より標記項目について次に示すお知らせがありました。

『 標記項目は陽性コントロールとして、PHA溶液中に一定以上のインターフェロン- γ 産生T細胞が認められたことで、検体中のT細胞が正常に反応し、検査結果が有効か否かを判断します。一部の検体ではPHA溶液中でも十分な反応が認められない場合があります、この際は検体側に要因がある可能性が高く、再提出による再検査をお願いする意味を含めて「判定保留」と報告しておりました。下記の期日より陽性コントロールに十分なT細胞が認められない場合は当該検査試薬の添付文書に則して「判定不可」とさせていただきます。』

以上の内容により、結果判定様式を変更させていただきたくご案内申し上げます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2025年 4月 2日(水)報告日分より

■対象項目 [2377] T-SPOT

変更箇所	新	現
判定結果	(陽性コントロールが20スポット未満) 判定不可	(陽性コントロールが20スポット未満) 判定保留
報告コメント	陽性コントロールが低値の為、判定不可です。	陽性コントロールが低値のため判定保留です。

※陰性コントロールが10スポットを超える場合はこれまでどおり「判定不可」と報告します。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。